

ベビーロック
コンパニオン

baby lock

COMPANION 4500



ご使用のてびき

このミシンを安全にお使いいただくため、
この「ご使用のてびき」をご使用前に必ず
お読みください。

また「ご使用のてびき」は手元に保管し、
未長くご活用ください。



このたびは、お買い上げいただき、ありがとうございます。

このミシンは、直線縫いやジグザグ縫いはもちろん、ホームソーイングに必要な縫いが簡単にできる家庭用電子ミシンです。


このミシンの特長をご理解していただき、正しくお使いいただくために、まずこの「ご使用のてびき」をよくお読みください。

「ご使用のてびき」は、保証書と共に大切に保管してください。

安全にご使用いただくために

このミシンを安全にご使用していただくために、以下のことがらを必ず守ってください。

このミシンは、日本国内向け、家庭用です。 FOR USE IN JAPAN ONLY.

 **警告** 感電、火災の恐れがあります。

1. 一般家庭用交流電源100Vでご使用ください。
2. 以下のようなときは電源スイッチを切り、電源プラグを引き抜いてください。
 - ミシンのそばを離れるとき
 - ミシンを使用したあと
 - ミシン使用中に停電したとき

 **注意** 感電、火災、けがの原因となることがあります。

1. フットコントローラーの上に物をのせないでください。
(電子ミシンの場合は、フットコントローラーはありません。)
2. お客様自身での分解・改造はしないでください。
3. ミシンの操作中はファインダー面板などのカバー類は必ず閉じてください。
4. ミシンの操作中は、針元から目を離さないようにし、針・はずみ車・天びんなどすべての動いている部分に手を近づけないでください。

皆様に常に最新の裁縫性能を提供するために、必要に応じてこのミシンの外観、デザインまたは、付属品を変更することがあります。ご了承下さい。

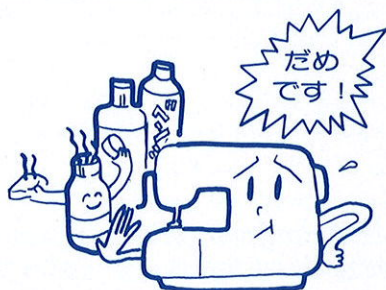
5. 曲がった針はご使用にならないでください。
6. 裁縫中に布を無理に引っ張ったり、押したりしないでください。
7. お子様のご使用になるときや、お子様の近くで使用されるときは、特に安全に注意してください。
8. 以下のことをするときは、電源スイッチを切ってください。
 - 針・針板・押え・アタッチメントを交換するとき。
 - ランプを交換するとき(ランプが冷えてから行なってください)。
 - 「ご使用のてびき」に記載のあるミシンのお手入れを行うとき。
 - 原則として上糸・下糸をセットするとき。
9. ミシン、フットコントローラーに以下の異常があるときは、速やかに使用を停止し、お近くの販売店にご連絡の上、点検・修理・調整をお受けください。
 - 正常に作動しないとき。
 - 落下などにより破損したとき。
 - 水に濡れたとき。
 - 電源コード、プラグ類が破損、劣化したとき。
 - 異常な臭い、音がするとき。
10. ミシンは安定した平らなテーブルや机の上でご使用ください。

ミシンの取り扱い

- ★直射日光が当たる場所、湿気の多い場所には置かないでください。

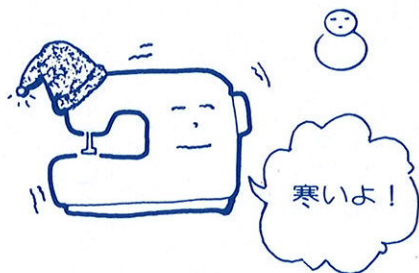


- ★ひどいよごれは、中性洗剤を溶かした湯(または水)に浸した布でふき、次に湯(または水)に浸した布で洗剤をふきとってください。



- ★低温の場所から出したときは、普通の温度になじむまで、しばらく置いてください。

時間がたてば正常に作動するようになります。保管は、なるべく寒いところをさけてください。



仕様

定格電圧	100 V
消費電力	80 W
周波数	50Hz/60Hz
ランプ定格	15 W
寸法	幅 385mm
	高さ 280mm
	奥行き162mm
重量	8.0 kg

目次

安全にご使用いただくために

表紙裏

ミシンの取り扱い／仕様

各部の名称

1.2

付属品の名称

3

縫い始めの用意

4

補助テーブルの取扱い……………4

電源のつなぎかた……………5

ミシンのスタートとストップ……………6

スピードコントロール……………6

下糸の巻きかた……………7

下糸の通しかた……………8

上糸のかけかた……………9

糸通し器の使いかた……………11

下糸の引き出しかた……………13

送り歯下げレバー……………14

押えのとりかえかた……………14

模様縫い……………15

針・糸・布地の関係とミシンの
各調節ダイヤルとの合わせかた

……………16

縫ってみましょう

17

直線縫い……………17

糸調子の調節のしかた……………18

返し縫い……………19

ジグザグ縫い……………20

ジグザグ縫いの糸調子……………20

ボタンホール……………21

裁ち目カガリ-1……………23

裁ち目カガリ-2……………24

まつり縫い……………25

ファスナー付け……………26

アップリケ……………27

つくろい縫い……………28

ミシンのお手入れ

29

針のとりかえかた……………29

カマのお手入れ……………30

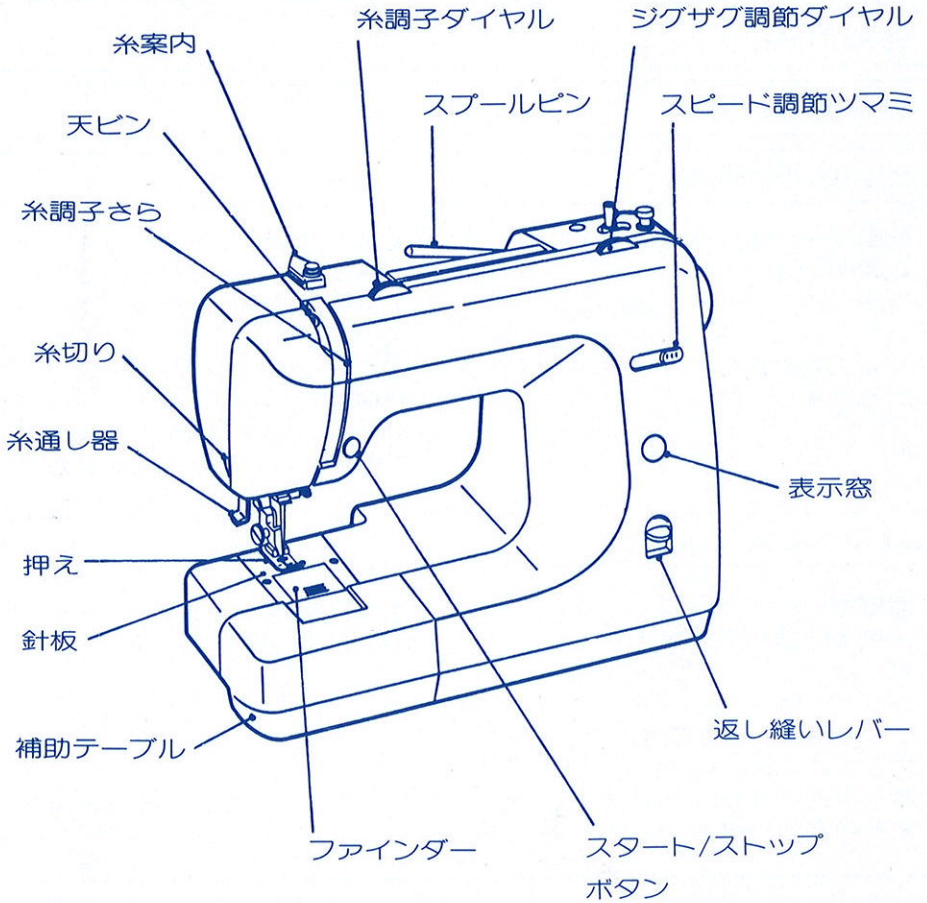
ランプの交換……………31

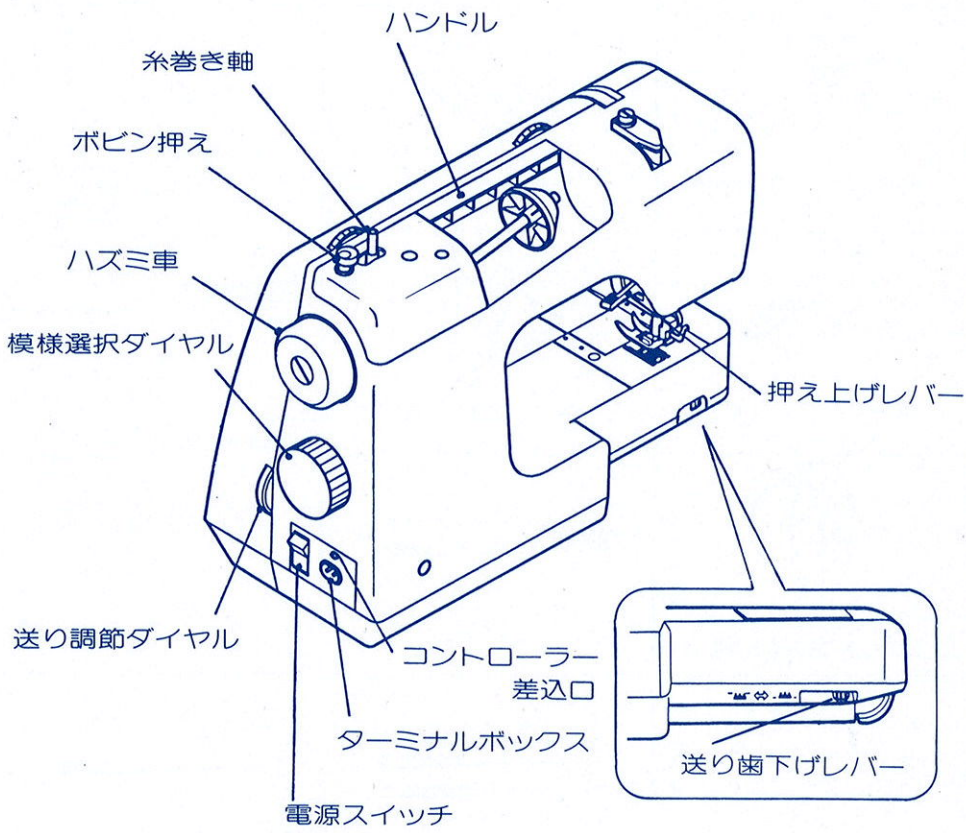
フットコントローラー……………32

ミシンの調子が悪いとき




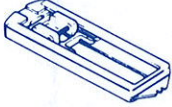




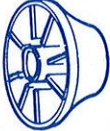






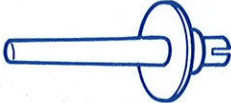
33

各部の名称



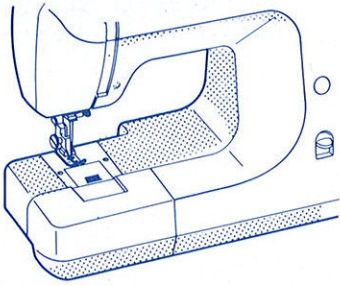


付属品の名称

 ジグザグ押え (ミシンについています)	 ファスナー押え	 ボビン
 ボタンホール押え	 直線押え	ドライバー
 裁ち目かがり押え	 まつり縫い押え	 (大)
 スプールキャップ (ミシンについています)	 ブラシ	 (小)
 油差し	 普通針14番	 ボールポイント針
 リPPER	 補助スプールピン	

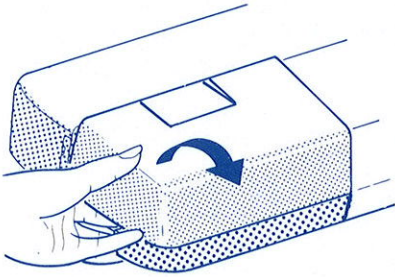
縫い始めの用意

ミシンは普通、図のように補助テーブルを取付けて縫います。

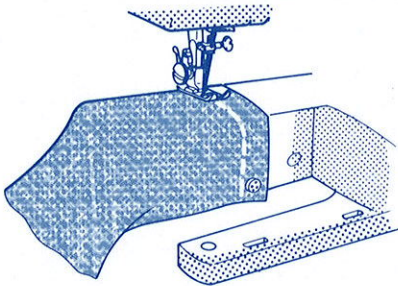


補助テーブルの取扱い

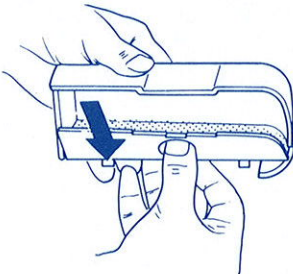
ズボン、袖口などの筒物縫いをするときは補助テーブルを矢印の方向へ持ちあげ、とりはずします。



筒物を縫う場合、便利なフリーアームとして使うことができます。



補助テーブルのふたは矢印方向に開きます。
(この補助テーブル内に付属品が収納されています。付属品については、P.3を参照ください。)



電源のつなぎかた

※ミシンは安定した場所に置きます。

! 警告：感電、火災を防ぐために：
ミシンを使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントからはずし、電源スイッチを「OFF」にしてください。

注意：ケガ防止のために：
電源コードを接続するときは必ず、電源スイッチを切ってから行なってください。



■自動停止装置について

- このミシンには、誤った操作などをしたとき自動的に運転を止める安全装置がついています。
- たとえば、縫製中に糸がカマにくい込んだりしたようなとき、安全装置がそれを感じ、3秒以内に自動的に電流を止めます。モーターが止ったら、糸がらみなどミシンを止める原因となったものを取り除いてください。安全のため電源プラグをぬいておきます。
- 次に、はずみ車を手前に回してみてもミシンが動くようになったかどうかを確かめた上で、再度プラグを入れ、スタート・ストップボタンを押してください。

ミシンのスタートと ストップ

- ボタンを押すと、ミシンは動きはじめます。
- もう一度押すと、止まります。
- ミシンが動いている間に電源が切れたとき、再び電源を入れただけではミシンは動きません。
再度ボタンを押すとミシンは動きます。

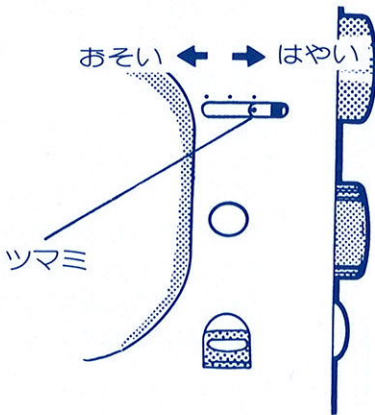
スタート/ストップ
ボタン

スピードコントロール

ぬいながらスピードを調節できます。

スピード調節つまみを右に動かしますと、回転は速くなり、左へ動かしますと、遅くなります。

* 縫い始めの3～4針はつまみ位置に関係なくおそく縫い始めます。



! 注意: ケガ防止のために:
針先には充分注意してく
ださい。

下糸の巻きかた

ボビンを取り出します。
ボビンの取り出しは、針板のフ
ァインダーを開けてから行いま
す。

ブラシの片方を使いますとボビ
ンがかんたんに取り出せます。

! 注意:ケガ防止のために:
必ず電源スイッチを切っ
てから行なってください。

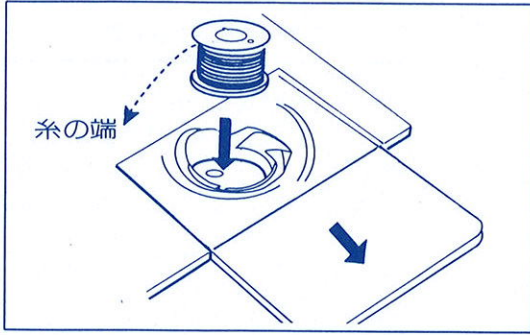
糸コマをスプールピンに差しこ
み、糸を糸案内に図のように通
します。

ボビンに糸を矢印方向へ5~6回
巻きつけ糸巻き軸に差し込み、
ボビンを右に押しつけボビン押
えに固定します。

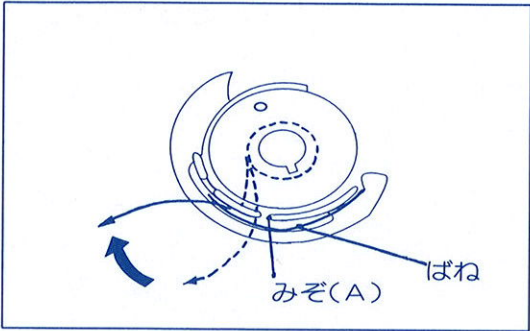
ミシンをスタートし、少し巻い
たらいったん止めて、余分な糸
を切り、再度スタートします。
いっぱいまで巻けますと、ボビ
ンの回転は止まります。
巻き終わったら、ボビンを矢印の
方向に戻します。

下糸の通しかた

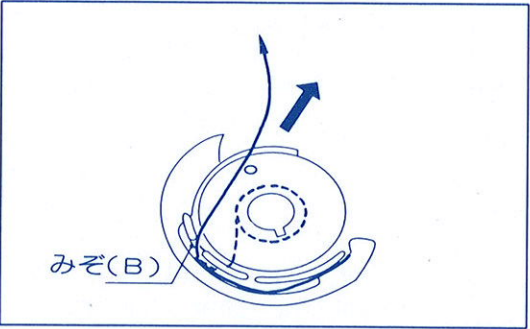
ファイnderをひき出し、糸の端を出してカマの中にポピンを入れます。



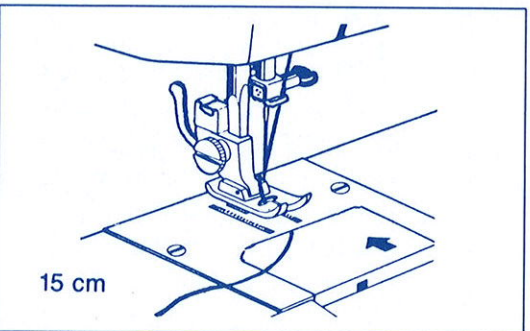
糸の端を引きながら、みぞ(A)にかけ、外周とばねの間を通します。



糸のみぞ(B)にかけ、そのまま向こう側へ出します。



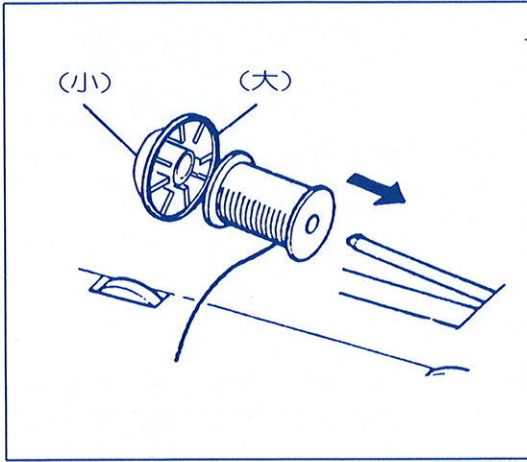
ファイnderを元に戻し、下糸は15cmほど引き出しておきます。



上糸のかけかた

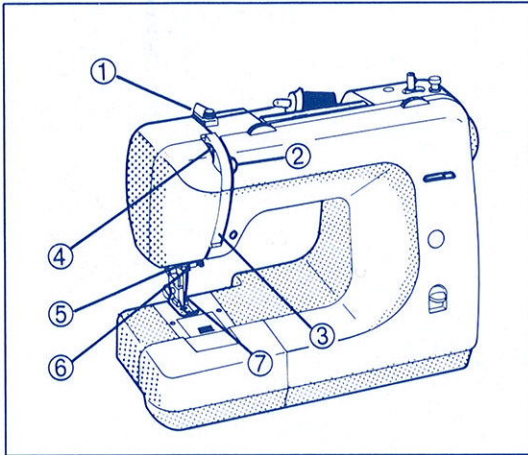
糸コマを差しこみ、スプールキャップをセットします。

※糸コマとスプールキャップの間を、すこしあけます。



上糸を掛ける前に、ハズミ車をまわして天ピンを一番上の位置に上げ、押えを上げておきます。

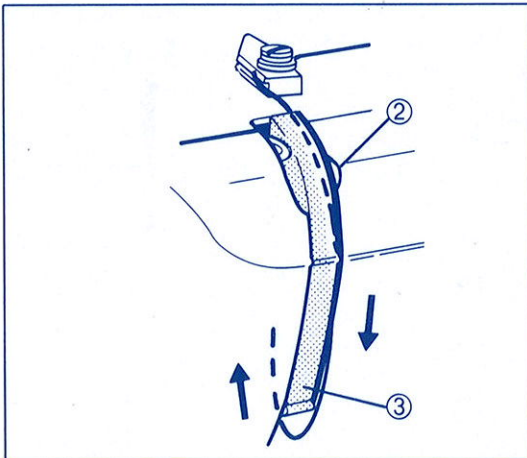
糸コマから糸を引き出し糸案内①→糸調子②→糸案内③→天ピン④→糸案内⑤→針棒糸掛け⑥→針⑦の順に糸を通します。

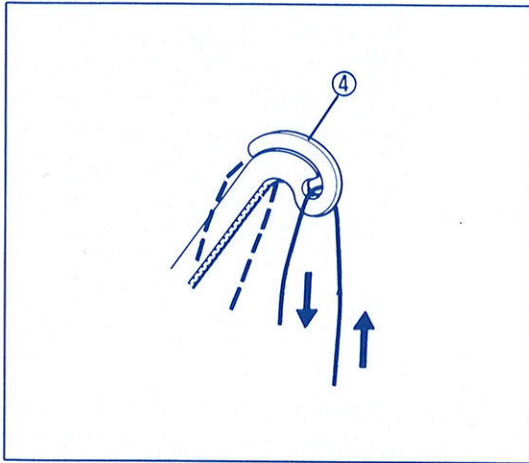


糸調子②へ糸を通すときは皿と皿の間へ確実に入れます。

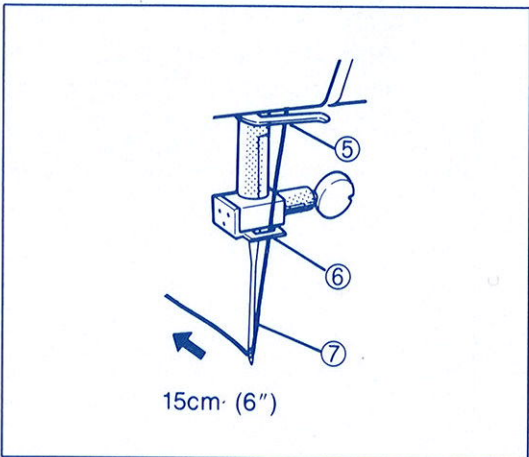
糸案内③は糸を右から左へ掛けます。

(注意：上糸を掛ける時、押え上げレバーが上っていないと糸調子②で皿の間に糸が入らず縫ったときに上糸がすべり上糸の調節がきかなくなりますのでかならず押え上げレバーを上げるようにして下さい。)



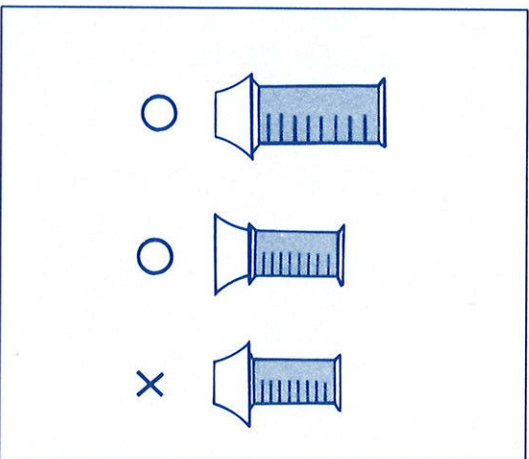


天ビン④へは、糸案内③から引き上げた糸を手前へ引く様にして掛けます。



糸案内③ → 針棒糸掛け⑤の順に糸を掛け、針の穴⑦へは、手前から向う側に通し糸端を15cmほど引き出しておきます。

! 注意：ケガ防止のために：必ず電源スイッチを切ってから行なってください。



スプールキャップは、図のように糸コマの大きさによって使いわけます。

糸通し器の使いかた

 注意：ケガ防止のために：

- 糸通し使用中は、はずみ車を手で回さないでください。
 - ミシンが動いているときは糸通しレバーに手を触れないでください。
- 糸通し装置がこわれるだけでなく、針が折れ、ケガのもとになります。

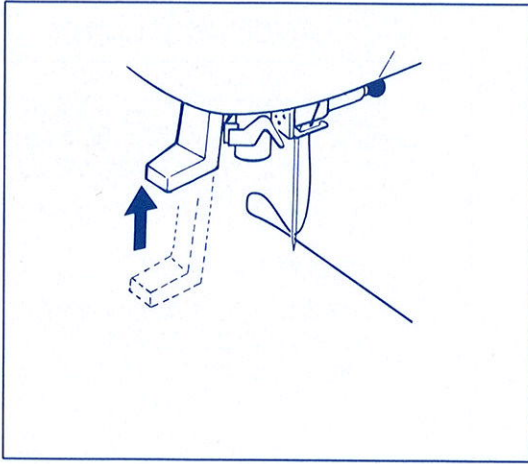
押えを下げます。はずみ車を手前に回して針を上へ上げます。

糸通しレバーをかるく下げ、糸を糸通しのガイドにかけて、右にひいてきます。

レバーをいっぱい下げます。

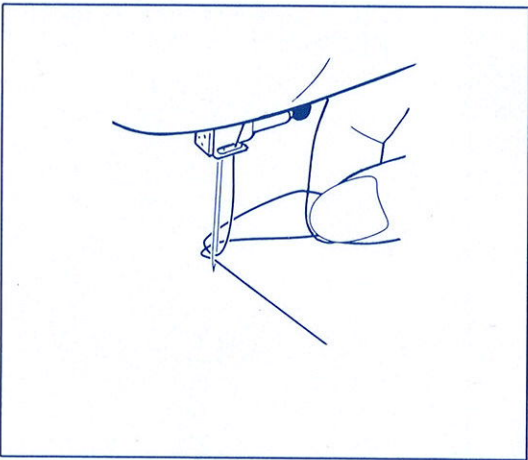
- 糸通しが回転し、フックが針穴を通ります。

フックの下に糸をかけます。



糸をかるく持ってレバーをはなします。

- フックが戻り、糸が輪になって針穴を通ります。



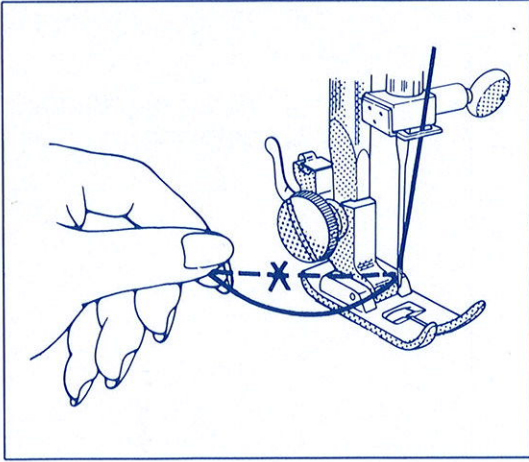
糸はしを針穴から10cmくらい引き出しておきます。

下糸の引き出しかた

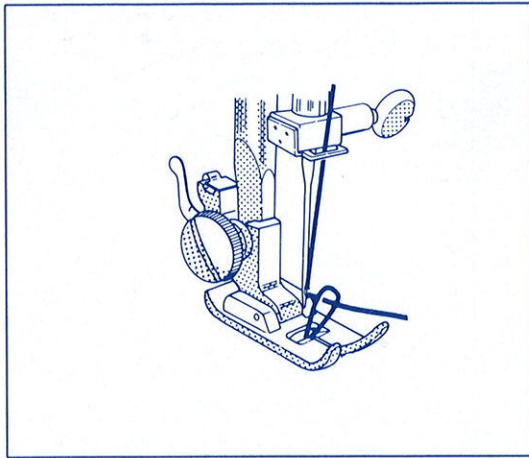
上糸の端をつまんでハズミ車をゆっくり手前の方へ1回転させ、天ビンが上がりきったところで止めます。

*** 注意！**

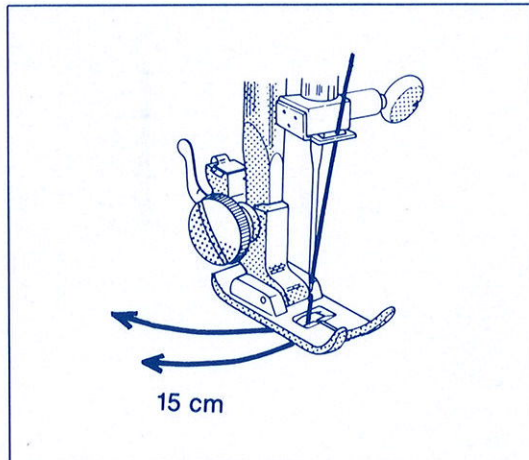
糸が張っていると下糸が出ませんので、たるませてつまみます。



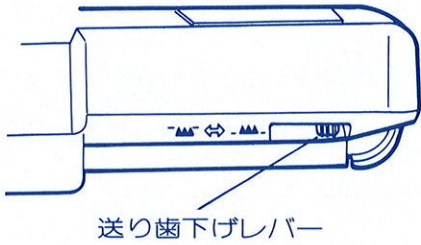
次に上糸を引くと下糸の輪が出て来ます。



上糸と下糸をそろえて押えのみぞを通してから後側へ15cmほど引き出してください。



送り歯下げレバー



- ▲▲▲-: 送り歯が針板より上がった状態で一般の使用状態です。
- ▲▲▲-: 送り歯が針板より下がりボタン付けなどに用います。

押えのとりかえかた

**⚠ 注意: ケガ防止のために:
必ず電源スイッチを切っ
てから行なってください。**

取りかえ前の準備

- ① 押え上げレバーを上げます。
- ② ハズミ車を手前方向にまわして針を上げます。

① ーとりはずしかたー
押えホルダーのレバーを矢印方向に押しと押えがはずれます。

② ーとりつけかたー
押えのピンを押えホルダーの溝 ㉔ の真下にくるように置きホルダーの溝と押えのピンを一致させます。
そのあと押え上げレバーを下します。

模様縫い

模様選択ダイヤルを回すと、選択した模様が表示窓に表示されます。







! 注意：模様選択ダイヤルは、必ず針が上がっていることを確認してから回してください。針が曲ったり、折れたりする場合があります。

番号	模 様	ジグザグ巾	送 り 量	押 え
1-2		3.5~6.5	0.3~1	
3	----	-	1.5~4	
4	W W	1~6.5	0.5~4	
5	W W	3.5~6.5	0.5~1	
6	W W	1.5~4	1~2	
7	W W	3.5~6.5	1~2	
8	W W	1.5~4	1~2	
9		3.5~6.5	0.5~1	
10		3.5~6.5	0.5~1	
11	△△△	3.5~6.5	4	
12	△△△	3.5~6.5	4	
13	X X X	3.5~6.5	4	
14	△△△	3.5~6.5	4	
15	◇◇◇	3.5~6.5	4	
16	△△△	3.5~6.5	4	
17		3.5~6.5	4	
18		3.5~6.5	4	
19	///	3.5~6.5	4	
20	■■■■	-	4	

針・糸・布地の関係とミシンの各調節ダイヤルとの合わせかた

布地の種類によって、布に合った針と糸にとりかえて縫うのが上手に仕上げるポイントです。下表の要領に従ってお縫いください。

*この縫い方の要領は各種縫い方全てに関係しますのでよくおぼえてください。

		薄物	普通	厚物
針・糸・布地の関係	 針	9番~11番	11番~14番	16番
	 糸	ポリエステル 90番 綿80番~120番 絹80番	ポリエステル50番~60番 綿60番~80番 絹50番~80番	ポリエステル30番~50番 綿40番~50番 絹50番
	 布地	薄物一般 裏地、ジョーゼット ローン等	木綿一般 ジャージ、リンネル、 ウール、サージ、 ギャバジン、シャーク スキン、サテン等	厚物一般 オーバーコート地、 デニム、ツイード、 帆布等
縫い目の長さ	送り調節ダイヤル (直線縫いの場合)	1.5~3	1.5~4	1.5~4
糸調子のとり方	糸調子	 普通より弱く	 普通	 普通よりやや強く

* 伸縮性の布地の縫い合わせのときには付属のボールポイント針を使用してください。

* 厚地やデニムには、デニム針を使用すると縫いやすくなります。

* 9番の針は、細く弱いため布や糸を無理に引っばったりしますと曲がったり、折れたりすることがありますので注意してください。

* 付属品にない針は家庭用ミシン針とご指定のうえ、お買い求めください。

縫ってみましょう

直線縫い

ミシンの各部を図のようにセットします。



注意：ケガ防止のために；布地はミシンによって自動的に送られますので無理に引っ張ったり、押ししたりしないでください。針が折れ、ケガの原因になることがあります。

布地を入れ、押えを下げスタートします。

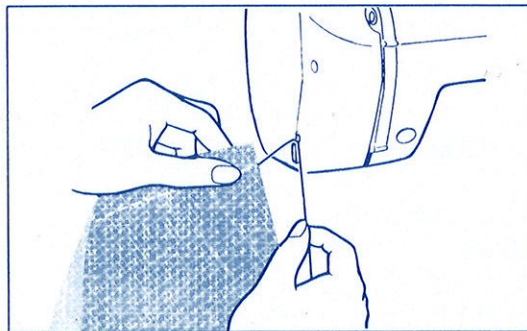
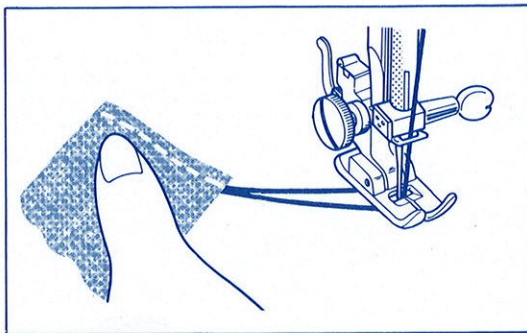
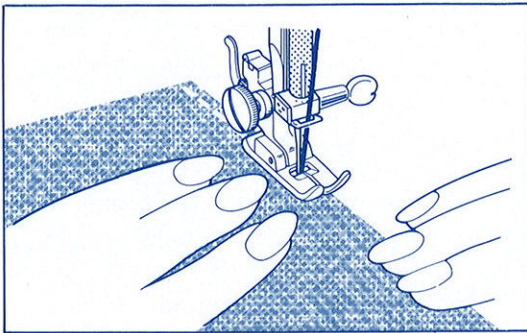
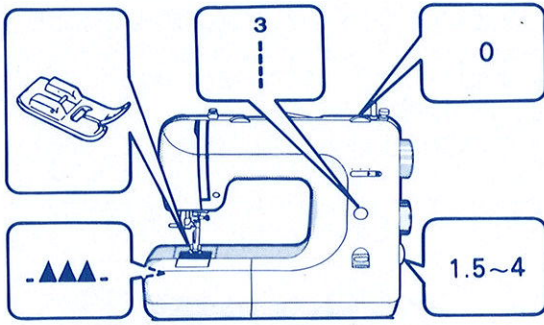
- スタート/ストップボタンを押し続けると、その間低速でぬいます。
- 手はかるく布地に添えます。

再びスタート/ストップボタンを押してストップします。

縫い終わりましたら、針が布から上がっているか確認し、押えを上げてから布を左向う側へしずかに引き出します。

* 布に針をさしたまま引っ張ると、針を曲げる恐れがあります。

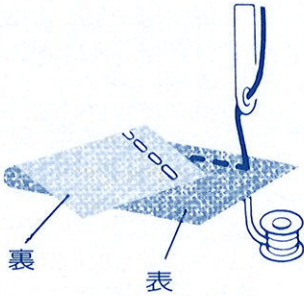
糸切りで糸を切ります。



糸調子の調節のしかた

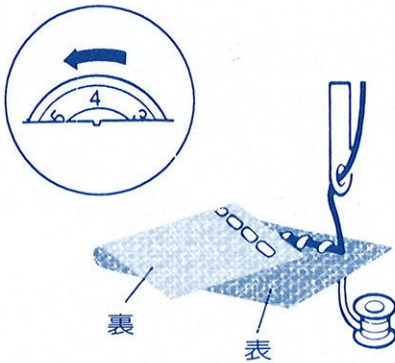
正しい糸調子

糸調子が正しく調節されていないと縫い目がきれいに仕上がらず、布にしわがよったり糸が切れたりします。正しい糸調子とは、上糸と下糸が布のまん中で交差して、糸のたるみ、布縮みのない状態をいいます。糸調子のだしかたは試し縫いをしながら上糸の強さを調節して行います。



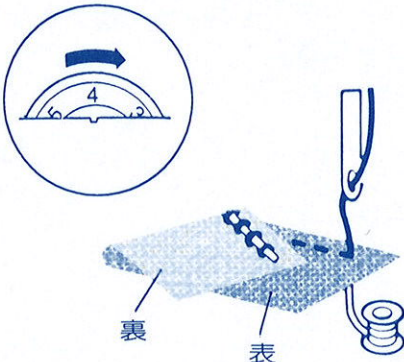
上糸が強い場合

上糸と下糸の重なりが上（表）にできます。



上糸が弱い場合

上糸と下糸の重りが下（裏）にできます。



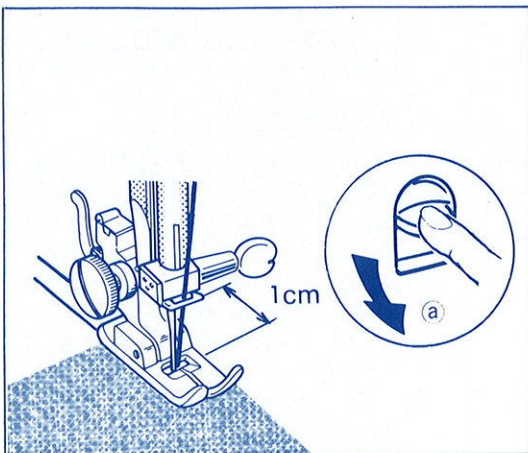
返し縫い

返し縫いは、縫い始めや縫い終わりのほつれを防ぐために行います。

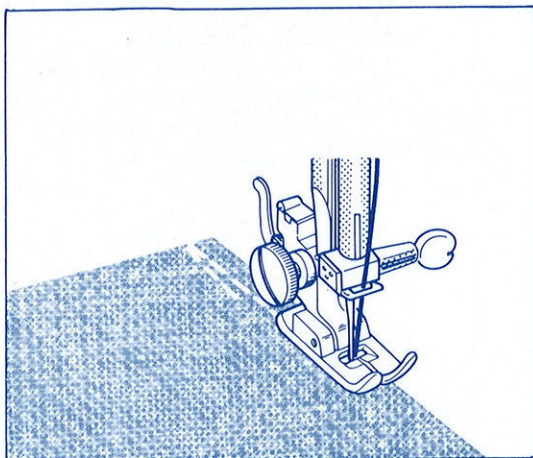
布端から1cmくらいのところに針が落ちるようにセットし、押え上げレバーを下げます。

返し縫いレバーを矢印②の方向へいっぱいまで押し、縫い始めます。

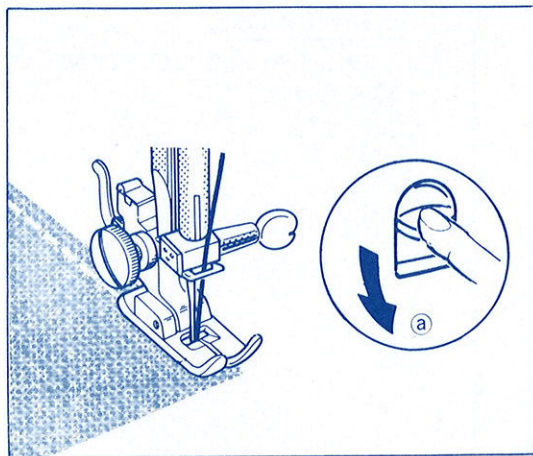
* 返し縫いをする間は押し続けてください。



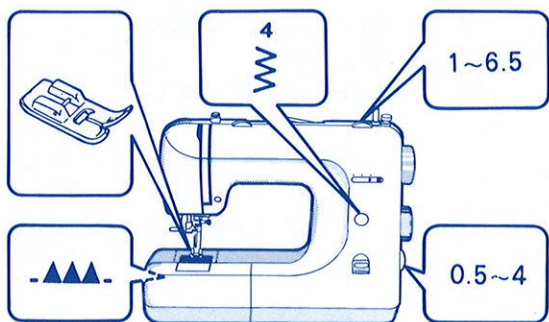
前進縫いをします。



縫い終わりも返し縫いレバーを矢印②の方向へ押して、3~4針返し縫いをします。



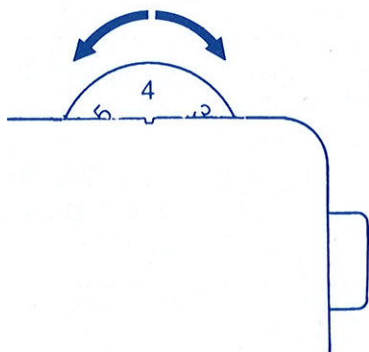
ジグザグ縫い



ミシンの各部を図のようにセットします。

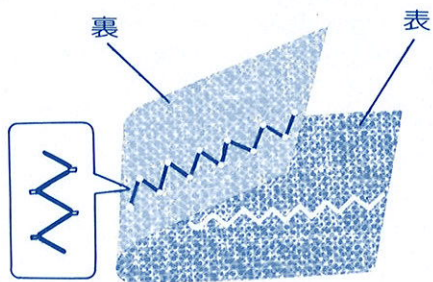
*送り量は0.5~4の間でお好みに合わせられます。

1mmから6.5mmまでのジグザグ巾が選択できます。



ジグザグ縫いの糸調子

上糸を少しゆるくして下糸が布の表に出ないようにすると美しく仕上がります。

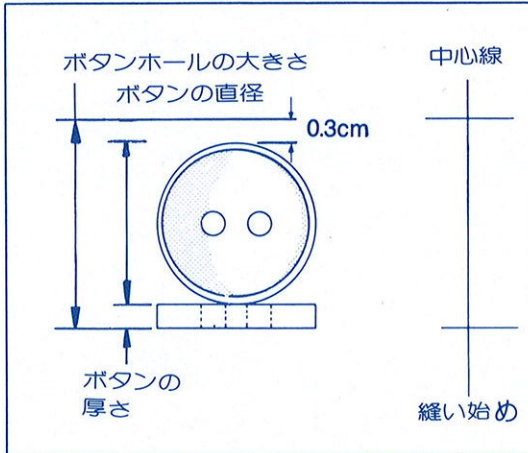
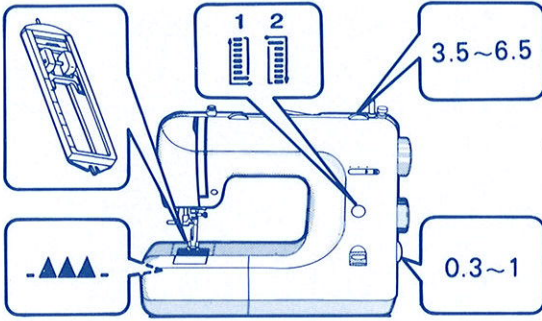


ボタンホール

ミシンの各部を図のようにセットします。

●必ず試しぬいをしてください。

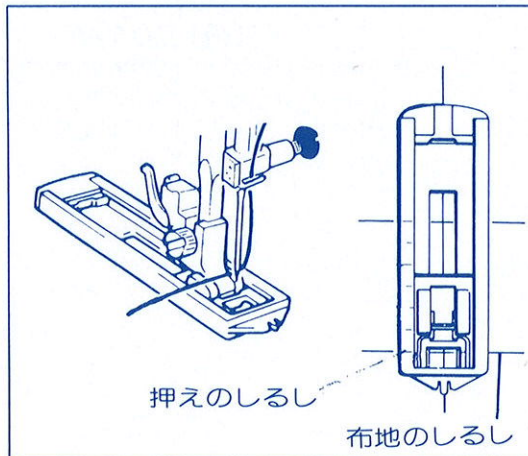
! 注意：ケガ防止のために：
押えの交換は必ず電源スイッチを切つてから行なつてください。



ボタンホールの大きさ

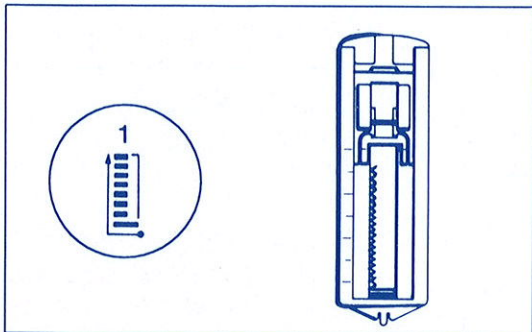
使用するボタンの径と厚さに合わせて、図の様にボタンホールの大きさを決め、しるしを入れます。

*伸縮性の布地及び薄地の場合
は芯地(不織布等)を布の間へ入れて縫います。

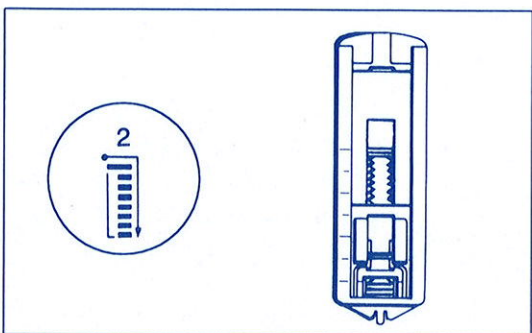


模様選択ダイヤルで1にセットします。

ボタン穴かがり押えをセットし、布地を入れ、押えを押しながら布地のしるしに押えのしるしを合わせて、押えを下げます。



上糸を持ってスタートします。
布地のしるしに合わせて止めます。



模様選択ダイヤルで2にセット
します。

スタートし、縫い始めの位置ま
で縫ったら、外側で止めます。

ボタン穴かがりを失敗したとき

失敗した場所により操作がちが
いますのでご注意ください。

1 をぬっているとき

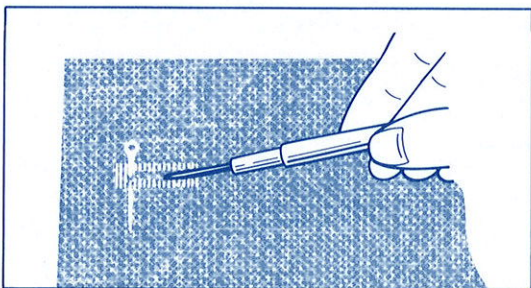


2 をぬっているとき



1. 押えを上げて糸をほどきます。
2. 模様選択ダイヤルで1 を指定し、始めからぬい直します。

1. 押えを上げて糸をほどきます。
2. 模様選択ダイヤルで2 を指定します。
3. 10針ほど空運転させます。
4. 模様選択ダイヤルで1 を指定し、始めからぬい直します。



ボタンホールのカット

糸端を裏で結び、付属のリッパ
ーで縫い目を切らないように中
央を切り開きます。

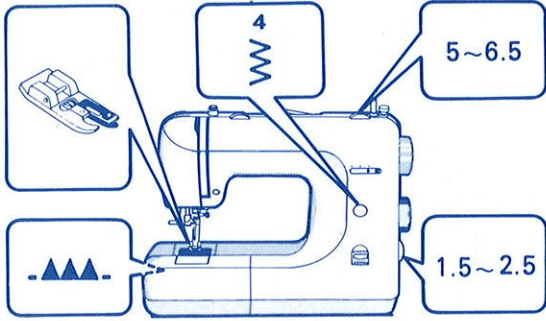
* まち針をかんぬき止め部に差
しておくとしリッパーでの切り
込みを防ぎます。

裁ち目かがりー1

ほつれが少い布の場合

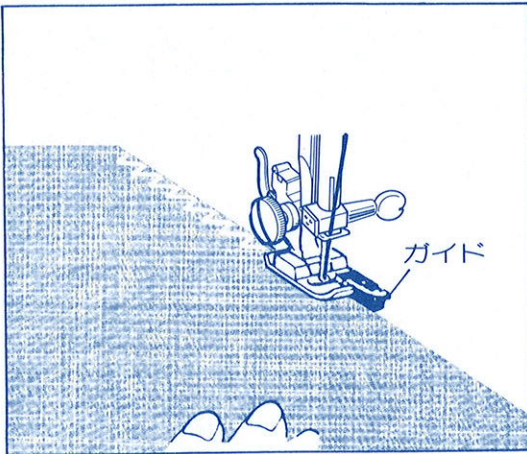
ミシンの各部を図のようにセットします。

! 注意：ケガ防止のために：
押えの交換は必ず電源スイッチを切ってから行なってください。



押えのガイドに布端が合うように布地をセットし、布端がガイドに合うように手を添えて縫います。

! 注意：ケガ防止のために：
振り巾を4より小さくして使用したり、ふちかがり押えのまま他の模様を使いますと針が折れ危険です。

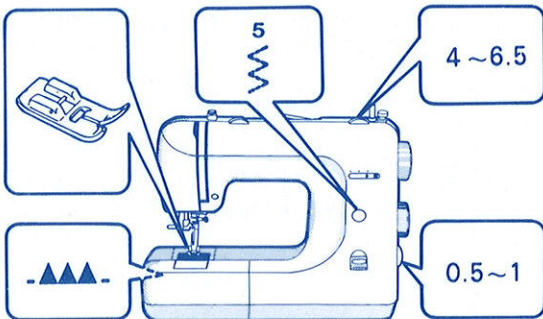


ほつれやすい布や薄い布の場合

ミシンの各部を図のようにセットします。

三点ジグザグ模様で縫いますときれいに仕上がります。

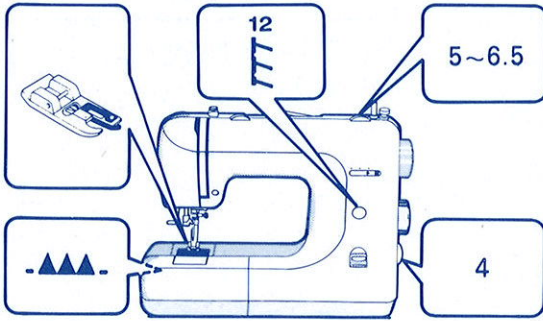
* 押えは必ずジグザグ押えに付け替えてください。



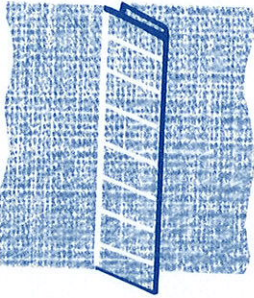
裁ち目かがりー2

縫い合わせと縫ち目かがり

ミシンの各部を図のようにセットします。



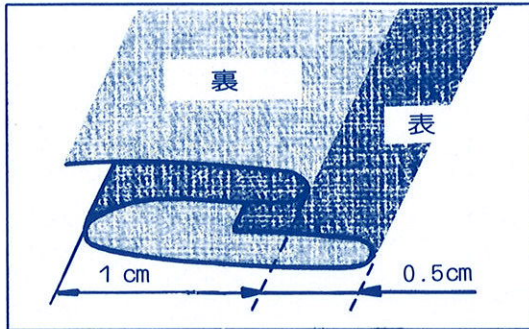
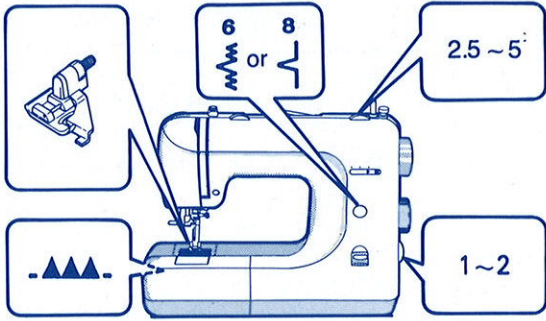
2枚の布を合わせて縫いますと裁ち目かがりと、縫い合わせを同時に行うことができます。



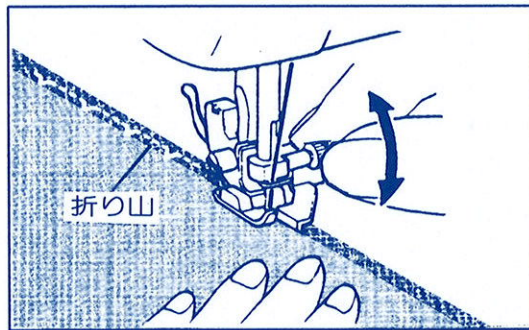
まつり縫い

ミシンの各部を図のようにセットします。

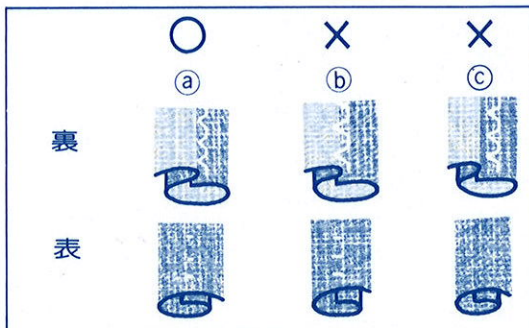
⚠ 注意:ケガ防止のために:
押えの交換は必ず電源スイッチを切ってから行ってください。



まつり縫いを行う位置を決めて図のように布を折ります。



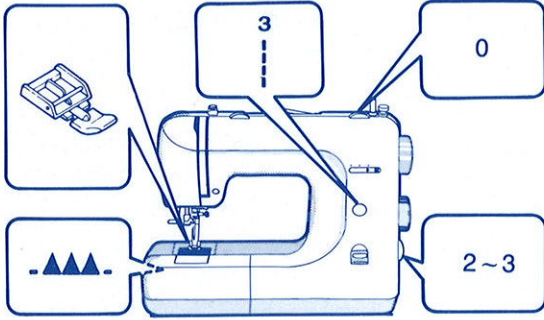
ハズミ車をまわして針が左側へきたとき、折り山にわずかにかかる様、布の位置を決めます。



縫い終って布を広げますと、まつり縫いができ上がります。
 ① 左側に落ちる針が折り山にかかりすぎると表側にでる縫い目が大きくなります。
 ② 針が折り山にかからないと縫えません。

ファスナー付け

ミシンの各部を図のようにセットします。



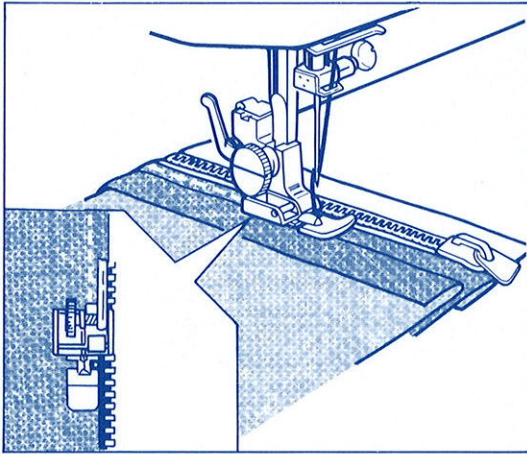
! 注意:ケガ防止のために:

- 押えの交換は必ず電源スイッチを切ってから行なってください。
- ファスナー押えは必ず直線だけにお使いください。

ほかの模様では、針が押えに当たって折れ危険です。

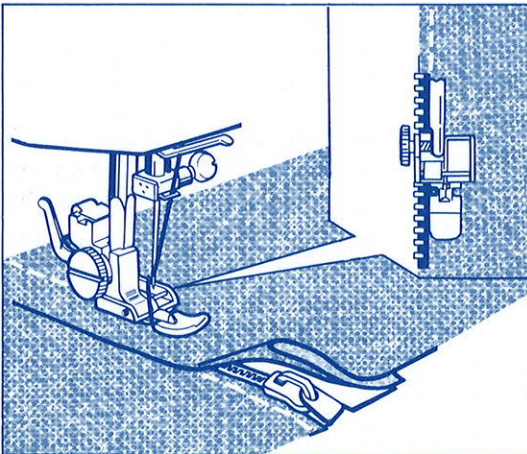
ファスナーの左側縫い

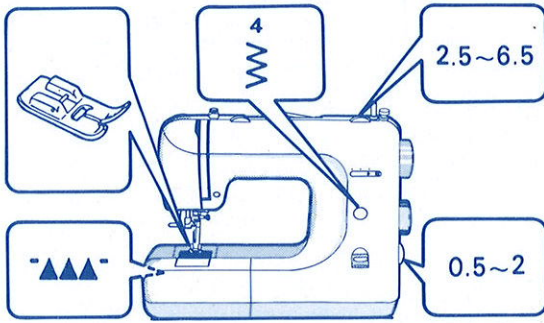
ファスナー押えの右側の針穴中央部に針がくるように押えの位置をかえ、ファスナーの歯が押えの右側と平行になるように縫います。中ほどまで縫ったら針を刺したまま押えを上げファスナーの金具を押えの向う側へ移動させて残りの部分を縫います。



ファスナーの右側縫い

ファスナー押えの左側の針穴中央部に針がくるように押えの位置をかえ、左側縫いと同じ要領で縫います。



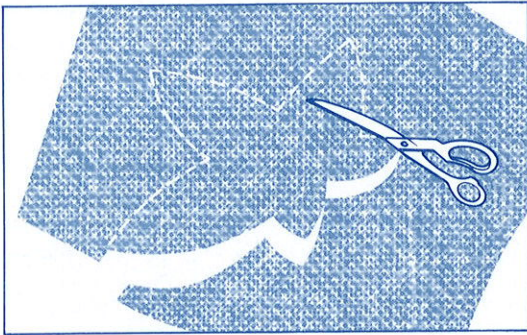


アップリケ

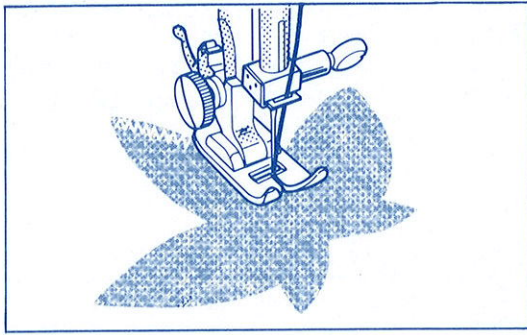
ミシンの各部を図のようにセットします。

! 注意:ケガ防止のために:
 押えの交換は必ず電源スイッチを切ってから行ってください。

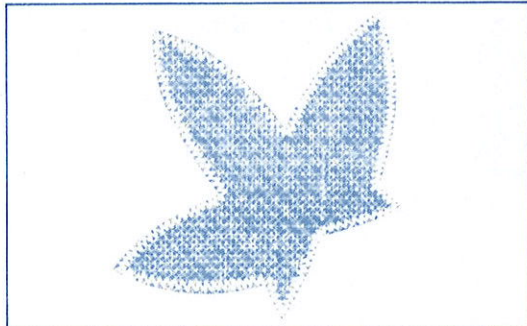
アップリケ布に図案を写し、ハサミで切り取ります。アップリケ布の裏にノリをつけて布地につけるか、またはしつけて止めます。



アップリケ布のふちを一定のジグザグ巾で縫いつけます。図案の形、大きさ、材質に応じて模様選択ダイヤルを選んでください。



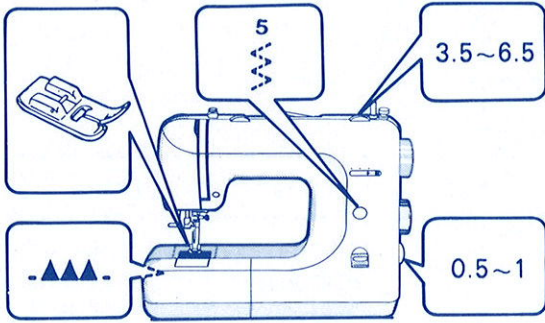
角のある布の向きをかえる場合はアップリケ布の外側に針を刺したまま押えを上げて向きをかえます。



つくろい縫い

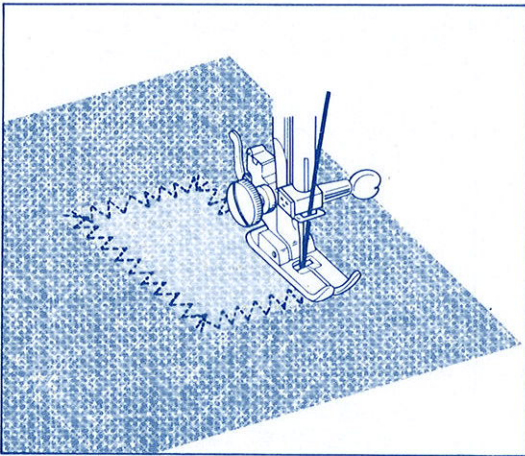
ミシンの各部を図のようにセットします。

! 注意：ケガ防止のために：
押えの交換は必ず電源スイッチを切ってから行なってください。



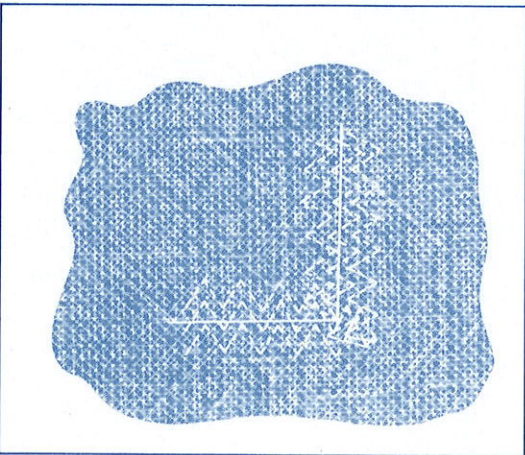
当て布のつくろい縫い

同種類の布地でスリ切れた部分をおおい、当て布の端を図のように表側から縫います。
縫い端から0.5~1cm程はなしてスリ切れた部分を裏から切りとります。



かぎざき縫い

やぶれた布端をつき合わせて図のように縫います。
必要なら裏側から別の布を当てて補強します。



ミシンのお手入れ

⚠ 警告：感電、ケガ防止のために：お手入れの際は、必ず電源プラグを抜いてください。

針のとりかえかた

ハズミ車をまわして針を一番上の位置まで上げ、針止めネジをゆるめて針を抜きとります。

⚠ 注意：ケガ防止のために：曲がった針や、先がつぶれた針は、危険ですのでご使用にならないでください。

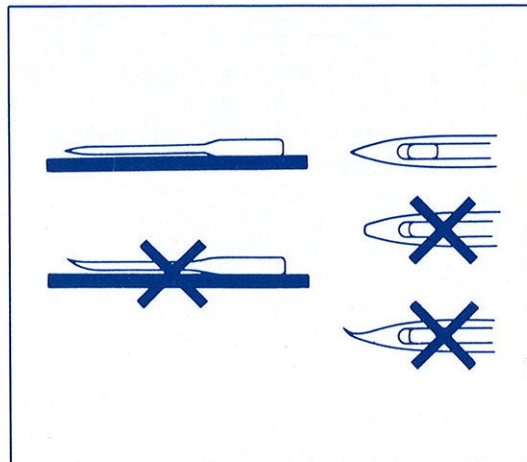
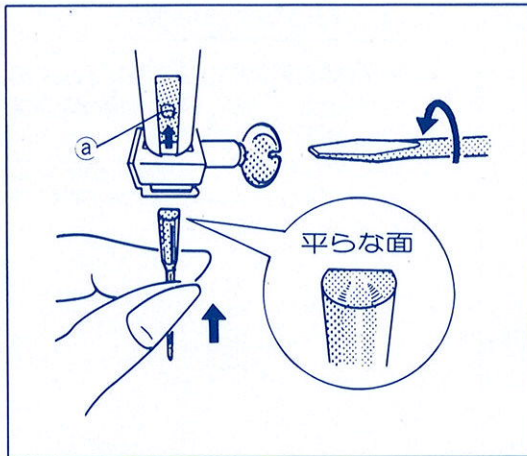
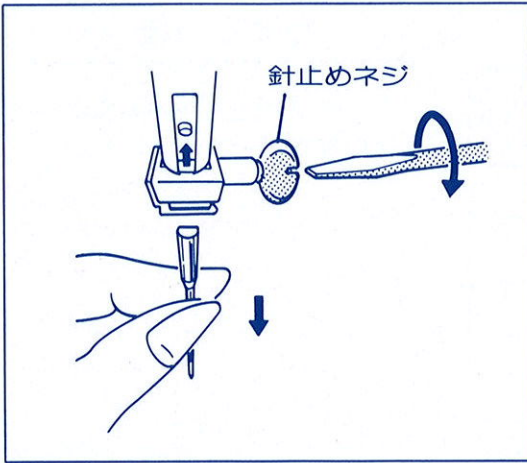
新しい針の平らな面を図のように向う側に向け針棒のストッパー ①に当たるまで一杯におし込み、針止めネジをしっかり締めつけます。

* 取付向きを誤りますと針が入りません。

* 工業用、職業用のミシン針は平らな面がなく使用できません。

新たに針をご購入の際は必ず家庭用ミシン針をお求め下さい。

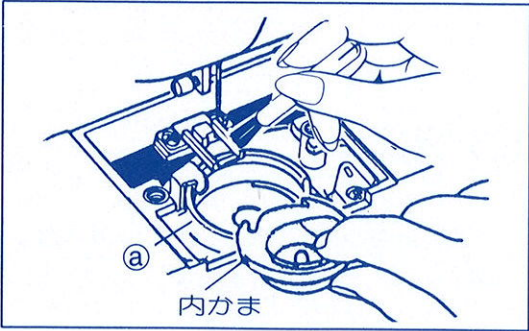
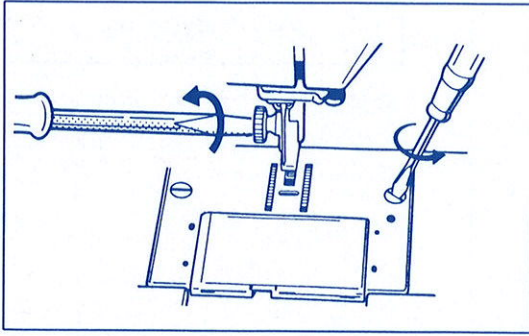
曲った針や先端のつぶれた針を使いますと、よく縫えないばかりでなく、針板やカマにキズをつけたり、また針を折ったりします。



カマのお手入れ

押えと針を上げ、針と押えホルダーをはずします。

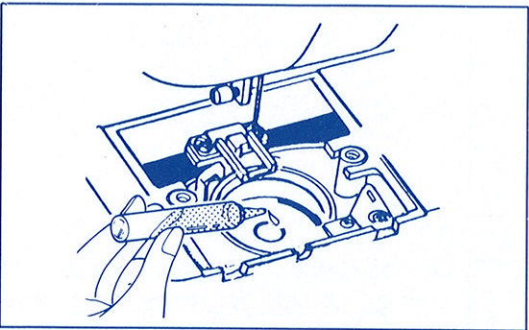
針板をはずします。



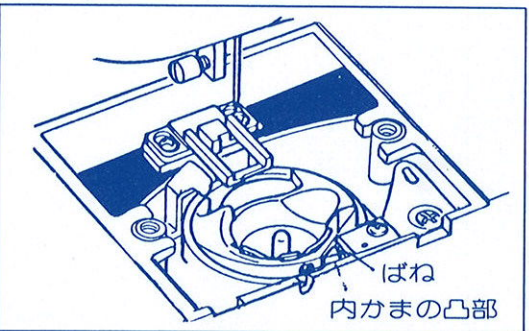
内かまを取り出します。

ほこりや糸くずを取り除きます。

- 内かまは、やわらかい布でふきます。
 - 取りにくい糸くずは、ピンセットや掃除機で取り除きます。
- ※内かまには油をささないでください。



カマの摺動部、及び中央部の穴に2~3滴注油し、その後布で軽くふきます。



内かま・針板の順に取り付けます。

- 内かまの凸部とばねとを合わせてセットしてください。

ランプの交換

電源スイッチを切ります。
面板のネジをゆるめ、面板を
はずします。

! 注意：ケガ防止のために：
長時間使用していると、
ランプが熱くなりやけど
をする恐れがあります。
電源プラグを抜いて十分
冷えてから交換してくだ
さい。

ランプは矢印の方向に回して取
り外します。新しいランプは、
逆方向に回して取り付けます。

案内棒に、面板をはめこみなが
ら、本体に取り付け、ネジを締
めます。

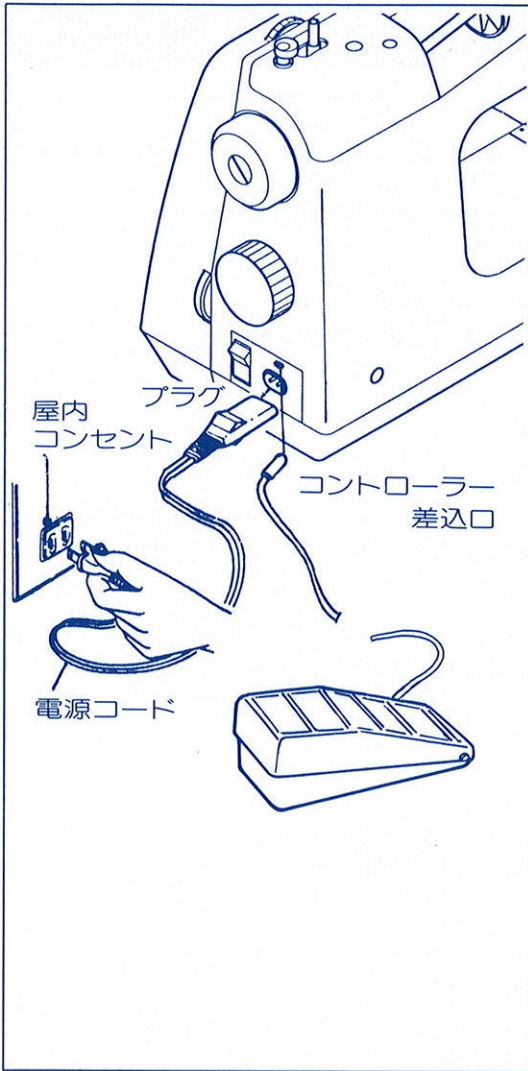
フットコントローラー(別売り)

コントローラーの接続の仕方

フットコントローラーを使いますとミシンのスピードを足で調節することができます。

左図のように、フットコントローラーのプラグをコントローラー差込口に差し込んで接続します。

フットコントローラーをご使用の際は次の点にご注意ください。スタートストップボタンを押してミシンを止めようとしても止まりません。

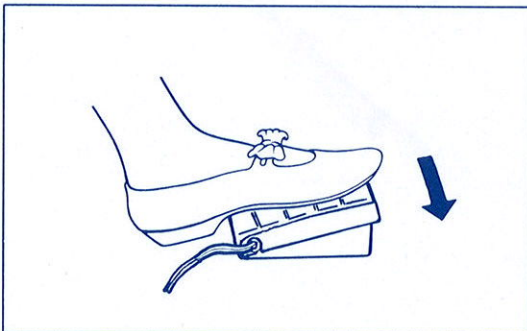


⚠ 警告：感電、火災を防ぐために：コントローラーは、落としたり、座ぶとんの下において使用しないで下さい。

⚠ 注意：ケガ防止のために：コントローラーを接続するときは必ず電源スイッチを切ってから行なって下さい。

コントローラーの使い方

かるく踏む——スピードおそい
ふかく踏む——スピードはやい



ミシンの調子が悪いとき

	ページ
針が折れるのは……………	
細い針で厚地を縫ったり、細い針に太い糸を使ったとき……………	16
針の取りつけかたが悪かったり、曲った針を使用したとき……………	29
布地を無理にひっぱったとき……………	17
針止めねじがゆるんでいるとき……………	29
押えがゆるんだりして針にあたったとき……………	14
針を布地にさしたまま、模様選択ダイヤルを回したとき……………	15
上糸が切れるのは……………	
上糸のかけかたが間違っているとき……………	9.10
針が曲っていたり、先端がつぶれているとき……………	29
針が糸の太さと合っていないとき……………	16
上糸の調子が強すぎるとき……………	18
針の取りつけかたが間違っているとき……………	29
糸が必要以外のところからみついているとき……………	9.10
下糸が切れるのは……………	
ボビンケースに糸の通しかたが間違っているとき……………	8
下糸の調子が強すぎるとき……………	8
カマの中で下糸がからみあっているとき……………	30
縫い目かとぶのは……………	
針・糸・布の素材が合っていないとき……………	16
針が曲っていたり、針先がつぶれているとき……………	29
針が糸の太さと合っていないとき……………	16
上糸のかけかたが間違っているとき……………	9.10
針が正しく取り付けられていないとき……………	29
針板の下に糸くずがからまっているとき……………	30
縫い目に輪ができるのは……………	
上糸、下糸の調子が完全でないとき……………	16
布地を送らないのは……………	
送り歯のところに糸クズがたまっているとき……………	18
布地が縮むのは……………	
上糸の調子がつよすぎるとき……………	18
上糸のかけかたが間違っていたり、余分な個所にひっかかっているとき……………	9.10
布地と糸・針・縫い目長さがあっていないとき……………	16
ボビンに糸が巻けないのは……………	
ボビンを糸巻きストッパーに押しつけていないとき……………	7

修理サービス要領

●修理サービスのご相談

1. このミシンのご購入者には、ご購入店から1年間の「無料修理保証書」が発行されます。内容をよくお確かめの上、大切に保存してください。
2. 修理サービスは無料保証期間内および期間経過後も原則としてご購入店が承りますので、ご相談ください。
3. 修理サービスについてお問い合わせやご不審のある場合は、「お客様相談係」宛お申し越してください。

●修理部品の保存と供給

動力伝達機能部品および縫製機能部品のうち、交換修理に必要な部品は、ご購入の日から通常8年間は必要に応じて当社よりご購入店に供給できるよう体制を整えております。

※次の場合は保証期間内でも有料修理となります。

- イ. 保存上の不備または、誤使用により不調、故障または損傷したとき。
 - ロ. 浸水、冠水、火災など天災、地変により不調、故障または損傷したとき。
 - ハ. ご購入後の移動または輸送によって不調、故障または損傷したとき。
 - ニ. ご購入店または当社の指定する販売店あるいはサービス店以外で修理分解または改造したために不調、故障または損傷したとき。
 - ホ. 職業用として無理なご使用により不調、故障または損傷したとき。
- 長期間にわたってご使用されたミシンの精度の劣化は修理によって修復できないことがあります。
 - 有料修理サービスの場合の費用は、別に定める必要部品代金、交通費および技術料の合計額となります。

お客様へ _____

お買い上げ日、販売店名を記入されておきますと、修理などのときに便利です。

お買い上げ日	年 月 日
販売店名	
	TEL

〒102-0073 東京都千代田区九段北1-11-11

TEL 03 (3265) 2851

札幌 011(737)6821
東京 03(3265)8741
倉敷 086(473)0355

仙台 022(239)3705
名古屋 052(962)7631
広島 082(227)5781

新潟 0250(43)4451
大阪 06 (768) 3651
福岡 0942(44)7921